

(法第 10 条第 1 項関係様式例)

令和 7 年度 事業計画書
成立の日から令和 8 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 とともに・スマイル

1 事業実施の方針

初年度より、地域、企業、自治体など、協力を求め積極的に実施していく。

子どもや高齢者、障がい者の居場所づくりを目的とし、子ども食堂を中心に地域住民と一緒に
なり地域の安心安全を推進する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事 業 内 容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	事業費 の予算 額 (千円)
① 子育て家庭 教育問題に 関する事業	子ども達への食事の提 供 子ども食堂	土曜日・ 日曜日 15:00 時 ～ 18:30 分	子ども食堂 わらべクラ ブ	5 名 ／回 延べ 1500 名	近郊地域の 子ども達 15 名～	500
② 昔の遊び、伝 統文化の継 承に関する 事業	地域住民、高齢者との 昔の遊びを通して子ど もとの交流を含み居場 所を提供する。	月曜日～ 金曜日 1400 時 ～ 18:00 時	わらべクラ ブ	2 名 ～ 3 名 ／ 回	近郊地域住民、子 ども、高齢者、障 がい者 10 名～	100
③ フードバン ク事業	事業者及び一般家庭か らロスの食品を回収し ひとり親家庭、生活困 難者、高齢者などに支 援配達	金曜日 16:00 時 ～ 18:00 時	若松区 近郊	2 名 ／ 回	若松区近郊の地 域住民多数	60
④ 人材育成、就 労継続支援 に関する事 業	ボランティアによる学 習支援	火曜日・ 木曜日 17:00 時～ 18:30 分	わらべクラ ブ	2 名 ／ 回	近郊の子ども 達 10 名～	20

(2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者の 予定人数	事業費の 予算額 (千円)
① 物品の販 売事業	実施予定なし				
② 物品の製 造事業	実施予定なし				

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 設立当初の事業年度及び翌事業年度の事業計画書をそれぞれ別葉として作成する。
- 3 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 4 2の(1)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施予定日時、実施予定場所、従事者の予定人数、受益対象者の範囲及び予定人数並びに支出見込額をそれぞれ記載する。
- 5 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び予定人数」の欄には、具体的な受益対象者及び予定人数を記載する。
- 6 2の(2)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施予定日時、実施予定場所、従事者の予定人数及び支出見込額をそれぞれ記載する。定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、設立当初の事業年度及び翌事業年度に実施予定がなくても「予定なし」の旨を記載する。

令和8年度 事業計画書

令和8年 4月 1日から令和9年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 とともに・スマイル

1 事業実施の方針

ボランティアの方々も増え、初年度以上に地域、企業、自治体の協力を積極的に実施していく。
生活困難者、ひとり親、社会参加困難者の居場所づくりを地域を巻き込み推進する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者の 予定人数	受益対象者の 範囲及び 予定人数	事業費 の予算 額 (千円)
① 子育て家庭教育問題に関する事業	子ども、高齢者、障がい者への食事の提供	土曜日、 日曜日 15:00時 ～ 18:00時	子ども食堂、 わらベクラ ブ	5名 ／ 回	近隣の地域住民 子どもたち 15名～	1,010
② 昔の遊び、伝統文化の継承に関する事業	地域住民、高齢者との昔の遊びを通して子供たちとの交流を含み居場所を提供する。	月曜日～ 金曜日 14:00時 ～ 18:00時	わらベクラ ブ	2名 ～ 3名 ／ 回	近隣の地域住民、子ども、高齢者、障がい者 10名～	350
③ フードバンク事業	事業者及び一般家庭からのロスの食品を回収しひとり親家庭、生活困難者、高齢者などに支援配達	金曜日 16:00時 ～ 18:00時	近隣の 地域	2名 ／ 回	近隣の地域住民、学生、高齢者多数	150
④ 人材育成、就労継続支援に関する事業	ボランティアによる学習支援	火曜日 木曜日 17:00時 18:00時	わらベクラ ブ	2名 ／ 回	近隣の子どもたち 10名～	100

(2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者の 予定人数	事業費の 予算額 (千円)
① 物品の販 売事業	実施予定なし				
② 物品の製 造事業	実施予定なし				

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 設立当初の事業年度及び翌事業年度の事業計画書をそれぞれ別葉として作成する。
- 3 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 4 2の(1)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施予定日時、実施予定場所、従事者の予定人数、受益対象者の範囲及び予定人数並びに支出見込額をそれぞれ記載する。
- 5 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び予定人数」の欄には、具体的な受益対象者及び予定人数を記載する。
- 6 2の(2)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施予定日時、実施予定場所、従事者の予定人数及び支出見込額をそれぞれ記載する。定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、設立当初の事業年度及び翌事業年度に実施予定がなくても「予定なし」の旨を記載する。